

中心市街地賑わい拠点整備事業 事業計画（又は実績）書

1 補助事業の概要

- (1) 事業名：松波市商店街環境整備支援事業費補助金
- (2) 事業の内容
商店街等が実施する空き店舗を活用した施設整備を支援する。
補助率：2/3 上限額：300万円

2 間接補助事業者（事務局）の概要

- (1) 団体名：県庁商店街振興組合
- (2) 代表者氏名：商業 太郎
- (3) 住所：松波市県庁2-8-2
- (4) 電話番号：023-456-7890
- (5) メールアドレス：kenchosyou@sinkoukumiai.jp

3 間接補助事業の概要

- (1) 拠点を整備する場所
●●市●●町1-2-3（●●商店街）
- (2) 拠点を整備する商店街等の現状・課題
 - ・商店街の近隣に高校・大学はあるが、高校生・大学生が商店街を訪れていない。
 - ・住民や学生、商業者などが相互に交流できるコミュニティがなく、それぞれが自分と似た立場の人同士でしかつながりがない。
- (3) 事業目的
 - ・学生や家庭を持つ方、地域の商業者などが集まれる拠点をすることで、拠点を中心に従来のコミュニティに捉われない新たなつながりを波及させ、地域の活性化につなげる。
- (4) 事業内容
 - ・空き店舗をリノベーションし、ワークショップやチャレンジショップなど、複数の用途に活用でき、地域住民が集まる拠点として整備する。
 - ・リノベーションの際には、地元の大学で建築を学ぶ大学生に協力を依頼し、一緒になって整備することで拠点到愛着を持ってもらい、完成後に利用してもらいやすくする。
 - ・拠点をワークショップやチャレンジショップなど、地域住民や学生などが何かやりたいことを気軽に実現しやすい地域の場とすることで、新たな地域コミュニティの拠点となり、拠点を中心とした新たなコミュニティを形成させる。

(5) 事業効果

- ・拠点を整備することにより、新たなコミュニティが形成され、そのつながりを通じて新たな活動につなげるなど、地域活性化に寄与する。
- ・商店街に来る機会の少なかった高校生・大学生が商店街を訪れる機会の増加につながる。

(6) 活動計画

年月日	活動内容	場所
R8.7 月上旬	整備に関する商店街・大学との打ち合わせ（第1回） ※以降も月3回定期的に実施	
R8.7 月下旬	地域住民との整備に関するワークショップ開催（第1回） ※以降3回実施	
R8.9 月上旬	拠点リノベーション開始	
R8.11 月上旬	リノベーション完成	
R8.11 月下旬	拠点利用開始	
R8.12 月上旬	チャレンジショップの利用開始	
R9.1 月下旬	事業完了	

(7) 間接補助事業完了年月日（予定年月）：令和9年1月

(8) 経費の配分

(単位：円)

事業経費 区分 (具体的内容)	間接補助 対象経費 (A) + (B) + (C)	補助対象経費 (A) + (B)	間接補助対象経費の負担区分		
			県補助金 (A)	市町村補助金 (B)	間接補助 事業者(C)
報償費 (専門家謝金)	45,000	30,000	15,000	15,000	15,000
旅費 (交通費)	15,000	10,000	5,000	5,000	5,000
消耗品費 (事務用品)	45,000	30,000	15,000	15,000	15,000
印刷製本費 (ポスター作成)	45,000	30,000	15,000	15,000	15,000
施設整備費 (リノベーション費用)	2,400,000	1,600,000	800,000	800,000	800,000
備品購入費 (机・椅子)	450,000	300,000	150,000	150,000	150,000
合計	3,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

4 事業完了年月日（予定年月）：令和9年3月